

# 変額保険(終身型・有期型) New アセットチョイス

## 2013年度(平成25年度) 特別勘定の現況

### ● 投資環境(2013年度)

#### 日本株式市場

日経平均株価は期初12,371円で始まり、4月の日銀の金融緩和を受け外為市場で円安が進行し、主に本邦輸出企業の業績改善への期待から5月に株価は15,942円まで上昇しましたが、6月には、米FRB議長の量的緩和早期縮小に関する発言や安倍首相の成長戦略への過度な期待の反動等の影響で、12,415円まで反落しました。その後は、一進一退を繰り返しながら下値を切り上げる展開となり、12月に外国為替市場において1米ドル=105円台と円安が進む状況の中で、16,320円まで上昇し2007年12月以来の高値をつけました。年明け以降は、新興国通貨安等の影響で株価はやや下落し期末は14,827円で終了しました。

#### 外国株式市場

期初、S&P500は1,569.18、FTSE100は6,411.74で始まり、米国をはじめ世界各国では金融緩和方向の政策が採られる中、景気はゆるやかながら回復傾向を示し、市場ではリスクをとる動きから株価は堅調に推移し、5月にFTSE100は2000年1月以来の高値となる6,875.62をつけましたが、米FRB議長の量的緩和早期縮小に関する発言後の6月にFTSE100は6,023.44まで反落しました。その後は、徐々に上値を切り上げ、1月には6,867.42と5月の高値に接近しました。S&P500も6月に下落する場面がありましたが、米国債務上限引き上げ合意や堅調な米企業業績、米金融緩和継続期待などを背景に株価は年末に向けて上昇傾向を示しました。年始以降の主に通貨安から生じた新興国懸念により株価が反落する局面もありましたが、年度末に向け株価は一段と上昇し、3月にS&P500は史上最高値更新となる1,883.97をつけました。期末は若干値を戻しS&P500が1,872.34、FTSE100は6,598.37で終了しました。

#### 日本債券市場

10年国債利回りは期初0.59%で始まり、4月に日銀の黒田新総裁による金融緩和策の一環として、買入れ国債の年限長期化が決定されたことから、10年国債利回りは0.32%と過去最低水準を更新しました。その後、市場で進行する円安・株高の影響等で10年国債利回りは5月に0.99%まで上昇しましたが、日銀の大量の国債買入により徐々に需給が引き締まり、10月に0.58%まで再び低下しました。年末には円安・株高の影響で10年国債利回りは0.75%まで上昇し、期末は0.64%で終了しました。

#### 外国債券市場

期初、米国10年国債利回りは1.87%、ドイツ10年国債利回りは1.28%で始まり、米FRB議長の量的緩和早期縮小に関する発言等により、9月に米国10年国債利回りは3.00%まで上昇しました。また、独連邦議会選挙の結果、連立政権樹立への懸念やイタリア政局不安等から、ドイツ10年国債利回りは9月に2.08%まで上昇しました。11月には、ECBによる予想外の利下げが実施され、その後一進一退で推移しましたが、年始以降の通貨安等から生じた新興国懸念により利回りは低下傾向を示し、期末には米国10年国債利回りは2.71%、ドイツ10年国債利回りは、1.56%で終了しました。

#### 外国為替市場

期初、1米ドル=94.21円で始まり、4月に日銀が導入を決定した「量的・質的金融緩和」等を背景に、5月に1米ドル=103.74円となりました。一方、米FRB議長の量的緩和早期縮小に関する発言等の影響により、6月には1米ドル=93.79円の円高水準となりました。しばらくもみ合いの後、GPIFの運用資産構成比見直しによる外貨建て資産への投資拡大や日銀の追加緩和期待等を背景に12月には1米ドル=105.41円となり、2008年10月以来の円安水準となりました。年明け以降、新興国通貨下落等の影響でやや円高方向に振れ、1米ドル=103.07円で期末を迎えました。また、ユーロにつきましては期初、1ユーロ=120.65円で始まり、景況感の改善等を受けユーロはゆるやかに上昇し、12月に1ユーロ=145.69円となった後、1ユーロ=141.96円で期末を迎えました。

### ● 運用実績の推移および運用方針

- |             |                                                 |
|-------------|-------------------------------------------------|
| ①当期の運用実績の推移 | 各特別勘定の運用状況をご参照ください。                             |
| ②当期の運用方針    | 当社は、各特別勘定の運用方針および管理運営方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。      |
| ③今後の運用方針    | 当社は、今後とも、各特別勘定の運用方針および管理運営方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2013年度決算(決算日：2014年3月31日)を行いました。当資料は2013年度の運用状況をご報告するものです。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認ください。



## ●特別勘定資産の内訳（2013年度末）

(単位：百万円)

区分	金額					
	世界株式型	世界株式型Ⅱ	日本株式型成長株	日本株式型小型株	日本株式型	欧州株式型
現預金・コールローン	368	207	129	52	53	58
有価証券	11,651	7,463	8,670	2,774	5,528	2,444
公社債	—	—	—	—	—	—
株式	—	—	—	—	—	—
外国証券	—	—	—	—	—	2,444
公社債	—	—	—	—	—	—
株式等	—	—	—	—	—	2,444
その他の証券	11,651	7,463	8,670	2,774	5,528	—
貸付金	—	—	—	—	—	—
その他	379	200	223	65	174	51
貸倒引当金	—	—	—	—	—	—
合計	12,399	7,871	9,023	2,893	5,756	2,555

※単位未満切捨て

(単位：百万円)

区分	金額				
	米国株式型	グローバル・バランス型	世界債券型	米国債券型	金融市場型
現預金・コールローン	61	38	73	69	990
有価証券	2,526	1,894	4,069	1,738	—
公社債	—	—	—	—	—
株式	—	—	—	—	—
外国証券	2,526	—	—	1,738	—
公社債	—	—	—	—	—
株式等	2,526	—	—	1,738	—
その他の証券	—	1,894	4,069	—	—
貸付金	—	—	—	—	—
その他	55	48	88	19	116
貸倒引当金	—	—	—	—	—
合計	2,642	1,981	4,231	1,827	1,107

※単位未満切捨て

## ●特別勘定の運用収支状況（2013年度）

(単位：百万円)

区分	金額					
	世界株式型	世界株式型Ⅱ	日本株式型成長株	日本株式型小型株	日本株式型	欧州株式型
利息配当金等収入	267	25	24	7	72	—
有価証券売却益	—	—	—	—	—	24
有価証券償還益	—	—	—	—	—	—
有価証券評価益	3,003	1,642	2,365	550	1,613	903
為替差益	—	—	—	—	—	—
金融派生商品収益	26	—	—	—	—	—
その他の収益	—	—	—	—	—	19
有価証券売却損	—	—	—	—	—	—
有価証券償還損	—	—	—	—	—	—
有価証券評価損	513	—	1,073	126	736	268
為替差損	—	—	—	—	—	—
金融派生商品費用	911	—	—	—	—	—
その他の費用及び損失	—	—	—	—	—	—
収支差額	1,873	1,667	1,316	432	950	678

※単位未満切捨て

(単位：百万円)

区分	金額				
	米国株式型	グローバル・バランス型	世界債券型	米国債券型	金融市場型
利息配当金等収入	—	7	5	—	—
有価証券売却益	—	—	—	—	—
有価証券償還益	—	—	—	—	—
有価証券評価益	750	280	583	490	—
為替差益	—	—	—	—	—
金融派生商品収益	—0	—	—	—	—
その他の収益	20	—	—	9	—
有価証券売却損	—	—	—	—	—
有価証券償還損	—	—	—	—	—
有価証券評価損	180	246	506	365	—
為替差損	—	—	—	—	—
金融派生商品費用	—	—	—	—	—
その他の費用及び損失	—	—	—	—	—
収支差額	590	41	82	134	—

※単位未満切捨て

## ●有価証券の売買状況（2013年度）

（単位：千口、千円）

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
世界株式型	キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1	—	—	1,762,148	1,449,211
世界株式型Ⅱ	キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1	38,645	35,500	166,487	145,825
日本株式型成長株	フィデリティ・日本成長株・ファンド・VA3	—	—	66,062	68,864
日本株式型小型株	フィデリティ・日本小型株・ファンド・VA3	28,384	45,000	25,011	32,598
日本株式型	株式インデックス225	141,688	72,201	172,352	64,223
欧州株式型	Old Mutual European Equity Fund	190	19,596	693	50,743
米国株式型	Old Mutual US Large Cap Growth Fund	321	23,445	—	—
	Old Mutual North American Equity Fund	4	9,032	—	—
グローバル・バランス型	ダ・ヴィンチVA	—	—	39,562	47,813
世界債券型	BR ワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジあり)	73,442	89,300	38,930	40,909
米国債券型	Old Mutual Total Return USD Bond Fund	20	37,389	—	—
金融市場型	—	—	—	—	—

※単位未満切捨て

## ●保有契約高（2013年度末）

（単位：件、百万円）

項目		件数	金額
変額保険（有期型）	New アセットチョイス	733	3,611
変額保険（終身型）		30,956	240,478

※単位未満切捨て

※特別勘定「欧州株式型」の投資対象となる投資信託の名称が「Skandia European Equity Fund」から「Old Mutual European Equity Fund」に2013年4月19日付で変更となりました。

また、同日付で投資顧問会社が「General Electric Asset Management」から「Old Mutual Global Investors (UK)」に変更となりました。

※特別勘定「米国株式型」の投資対象となる投資信託の名称が「Skandia US Large Cap Growth Fund」から「Old Mutual US Large Cap Growth Fund」に2013年4月19日付で変更となりました。

また、「Old Mutual US Large Cap Growth Fund」は2013年11月8日付で「Old Mutual US Capital Growth Fund」に統合され、「Old Mutual North American Equity Fund」に変更となりました。

これに伴い投資顧問会社が「Foundry Partners」から「Old Mutual Global Investors (UK)」に、ベンチマークが「Russell 1000 Growth (配当金込)」から「MSCI North America」に変更となりました。（これらの変更による、特別勘定の運用方針の変更はありません。）

※特別勘定「米国債券型」の投資対象となる投資信託の名称が「Skandia Total Return USD Bond Fund」から「Old Mutual Total Return USD Bond Fund」に2013年4月19日付で変更となりました。

# 世界株式型 (2014年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】1996年11月1日  
 【種類】株式型  
 【資産分類】世界株式  
 【運用方針】  
 日本を含む世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。  
 原則として、為替ヘッジを行い、円ベースでの安定的な収益を追求します。  
 ※為替ヘッジは、東京海上日動フィナンシャル生命にて実施します。  
 【投資対象となる投資信託】  
 キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2011年3月31日	127.57	-
2013年3月31日	147.98	3.68%
4月30日	153.68	3.85%
5月31日	158.24	2.97%
6月30日	148.33	-6.26%
7月31日	159.67	7.64%
8月31日	155.54	-2.59%
9月30日	168.15	8.11%
10月31日	170.36	1.31%
11月30日	173.37	1.77%
12月31日	173.35	-0.01%
2014年1月31日	171.40	-1.12%
2月28日	178.86	4.35%
3月31日	175.03	-2.14%
3か月変化率		0.97%
6か月変化率		4.09%
1年変化率		18.27%
3年変化率		37.20%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	368	3.1%
有価証券等		
キャピタル・インターナショナル・		
グローバル・エクイティ・ファンドVA-1	11,478	96.9%
その他	-	-
資産合計	11,846	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	11,846	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1の基本情報

【運用会社】キャピタル・インターナショナル  
 【運用対象】日本を含む世界主要国の株式など  
 【ベンチマーク】MSCI-World Index  
 【投資の基本姿勢】  
 ①長期投資  
 「徹底した企業調査が長期に渡る優れた実績につながる」という運用哲学に基づき、長期的な視点で運用を行います。  
 ②独自のリサーチに基づく投資判断  
 独自の企業調査に基づき銘柄選択を行います。企業調査はキャピタル・グ

ループのファンド・マネジャー及びアナリストが産業別あるいは地域別に行い、現地での調査と国際的な視野からの組み合わせにより行います。  
 ③複数のポートフォリオ・マネジャーによる運用  
 ファンドの資産を複数のファンド・マネジャーに分割し、ファンド・マネジャーがそれぞれに独自の裁量で運用を行うものです。複数のファンド・マネジャーのアイデア・スタイル等をポートフォリオに反映させ、一人のファンド・マネジャーの場合に起こりやすい独断偏向の回避を図るとともに、運用パフォーマンスの安定に努め、高いレベルでの運用を長期的に維持することを目標としております。

### 運用状況

#### ■国別・地域別内訳 (2014.3末現在)

国名	ベンチマーク 構成比	ポートフォリオ 構成比	ポートフォリオ 銘柄数
北米	58.9%	53.9%	76
アメリカ	54.8%	50.6%	71
カナダ	4.1%	3.3%	5
欧州・中近東	28.0%	29.5%	48
イギリス	8.7%	4.5%	12
フランス	4.3%	6.7%	10
スイス	3.8%	7.6%	10
ドイツ	3.9%	1.6%	5
オランダ	1.1%	4.0%	5
ノルウェー	0.3%	0.4%	1
その他	5.9%	4.7%	5
アジア・オセアニア	13.1%	11.6%	28
日本	8.1%	6.3%	14
香港	1.1%	2.9%	8
その他	3.9%	2.4%	6
その他地域	-	1.8%	6
キャッシュ他	-	3.2%	-
合計	100.0%	100.0%	158

※構成比は投資対象となる投資信託の時価総額に対する割合

#### ■業種別内訳 (2014.3末現在)

業種	ベンチマーク 構成比	ポートフォリオ 構成比
金融	20.9%	16.7%
一般消費財・サービス	11.9%	14.5%
ヘルスケア	11.7%	13.6%
情報技術	12.2%	13.4%
資本財・サービス	11.3%	12.6%
生活必需品	9.8%	8.6%
エネルギー	9.5%	7.3%
素材	5.7%	5.7%
電気通信サービス	3.5%	3.5%
公益事業	3.3%	0.7%
キャッシュ他	-	3.2%
合計	100.0%	100.0%

※構成比は投資対象となる投資信託の時価総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2014.3末現在)

銘柄名	国名	業種	構成比
1 ギリアド・サイエンシズ	アメリカ	ヘルスケア	3.8%
2 ロシュ・ホールディング	スイス	ヘルスケア	2.6%
3 ゴールドマン・サックス・グループ	アメリカ	金融	2.3%
4 グーグル	アメリカ	情報技術	2.2%
5 ノボ ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	2.0%
6 ブリストル・マイヤーズスクイブ	アメリカ	ヘルスケア	2.0%
7 ペルノ・リカール	フランス	生活必需品	1.7%
8 ベリサイン	アメリカ	情報技術	1.6%
9 イートン	アメリカ	資本財・サービス	1.6%
10 ダナハー	アメリカ	資本財・サービス	1.6%

※構成比は投資対象となる投資信託の時価総額に対する割合

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】(2014.3末現在)

当月の世界の株式市場はほぼ横ばいとなりました。前月のウクライナの政変を受けたロシアのクリミア併合強行や米欧による対ロシア経済制裁の決定といった地政学的リスクの高まりに加え、初めて債券のデフォルト(債務不履行)が発生した中国の景気減速や金融環境への不安などが相場を下押し要因となりました。一方で、寒波の影響による一時的な足踏み状態から景気が抜け出したことを示唆する米国の堅調な経済指標が相場を下支えました。一時はリスク回避の円高が進んだ為替市場でも、世界的な景気拡大観測から月末にかけて円安に戻り展開となり、外国株式の円建てリターンは改善要因となりました。セクター別では、公益事業やエネルギー、生活必需品などのセクターが上昇した一方で、一般消費財・サービスやヘルスケア、素材といったセクターが下落しました。当ファンドでは、キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・マザー・ファンドを通じてキャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティに投資を行った結果、当月の基準価額騰落率は-0.43%となりました。キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティにおける運用に関しては、ヘルスケアセクターにおける銘柄選択や、国別では、米国の銘柄選択などがマイナス要因となりました。一方、一般消費財・サービスセクターにおける銘柄選択や、国別では、オランダの銘柄選択などが相対的なプラス要因となりました。

※当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品は資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価格の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。またご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動フィナンシャル生命が提供するものであり、開示内容について東京海上日動フィナンシャル生命は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界株式型Ⅱ (2014年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】1998年12月1日  
 【種類】株式型  
 【資産分類】世界株式  
 【運用方針】  
 日本を含む世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。  
 原則として、為替ヘッジを行いません。  
 【投資対象となる投資信託】  
 キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	207	2.7%
有価証券等		
キャピタル・インターナショナル・ グローバル・エクイティ・ファンドVA-1	7,463	97.3%
その他	—	—
資産合計	7,670	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	7,670	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2011年 3月31日	100.97	—
2013年 3月31日	129.22	4.82%
4月30日	138.55	7.22%
5月31日	146.30	5.59%
6月30日	134.52	-8.05%
7月31日	143.82	6.91%
8月31日	140.45	-2.34%
9月30日	151.06	7.55%
10月31日	154.08	2.00%
11月30日	162.06	5.18%
12月31日	166.06	2.46%
2014年 1月31日	160.85	-3.14%
2月28日	166.41	3.46%
3月31日	164.20	-1.33%
3か月変化率		-1.12%
6か月変化率		8.70%
1年変化率		27.07%
3年変化率		62.62%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1の基本情報

【運用会社】キャピタル・インターナショナル  
 【運用対象】日本を含む世界主要国の株式など  
 【ベンチマーク】MSCI-World Index  
 【投資の基本姿勢】  
 ①長期投資  
 「徹底した企業調査が長期に渡る優れた実績につながる」という運用哲学に基づき、長期的な視点で運用を行います。  
 ②独自のリサーチに基づく投資判断  
 独自の企業調査に基づき銘柄選択を行います。企業調査はキャピタル・グ

ループのファンド・マネジャー及びアナリストが産業別あるいは地域別に行い、現地での調査と国際的な視野からの組み合わせにより行います。  
 ③複数のポートフォリオ・マネジャーによる運用  
 ファンドの資産を複数のファンド・マネジャーに分割し、ファンド・マネジャーがそれぞれに独自の裁量で運用を行うものです。複数のファンド・マネジャーのアイデア・スタイル等をポートフォリオに反映させ、一人のファンド・マネジャーの場合に起こりやすい独断偏向の回避を図るとともに、運用パフォーマンスの安定に努め、高いレベルでの運用を長期的に維持することを目標としております。

### 運用状況

#### ■国別・地域別内訳 (2014.3末現在)

国名	ベンチマーク 構成比	ポートフォリオ 構成比	ポートフォリオ 銘柄数
北米	58.9%	53.9%	76
アメリカ	54.8%	50.6%	71
カナダ	4.1%	3.3%	5
欧州・中近東	28.0%	29.5%	48
イギリス	8.7%	4.5%	12
フランス	4.3%	6.7%	10
スイス	3.8%	7.6%	10
ドイツ	3.9%	1.6%	5
オランダ	1.1%	4.0%	5
ノルウェー	0.3%	0.4%	1
その他	5.9%	4.7%	5
アジア・オセアニア	13.1%	11.6%	28
日本	8.1%	6.3%	14
香港	1.1%	2.9%	8
その他	3.9%	2.4%	6
その他地域	—	1.8%	6
キャッシュ他	—	3.2%	—
合計	100.0%	100.0%	158

※構成比は投資対象となる投資信託の時価総額に対する割合

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】(2014.3末現在)

当月の世界の株式市場はほぼ横ばいとなりました。前月のウクライナの政変を受けたロシアのクリミア併合強行や米欧による対ロシア経済制裁の決定といった地政学的リスクの高まりに加え、初めて債券のデフォルト(債務不履行)が発生した中国の景気減速や金融環境への不安などが相場を下押し要因となりました。一方で、寒波の影響による一時的な足踏み状態から景気が抜け出したことを示唆する米国の堅調な経済指標が相場を下げ支えました。一時はリスク回避の円高が進んだ為替市場でも、世界的な景気拡大観測から月末にかけて円安に戻り展開となり、外国株式の円建てリターンは改善要因となりました。セクター別では、公益事業やエネルギー、生活必需品などのセクターが上昇した一方で、一般消費財・サービスやヘルスケア、素材といったセクターが下落しました。当ファンドでは、キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・マザーファンドを通じてキャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティに投資を行った結果、当月の基準価額騰落率は-0.43%となりました。キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティにおける運用に関しては、ヘルスケアセクターにおける銘柄選択や、国別では、米国の銘柄選択などがマイナス要因となりました。一方、一般消費財・サービスセクターにおける銘柄選択や、国別では、オランダの銘柄選択などが相対的なプラス要因となりました。

#### ■業種別内訳 (2014.3末現在)

業種	ベンチマーク 構成比	ポートフォリオ 構成比
金融	20.9%	16.7%
一般消費財・サービス	11.9%	14.5%
ヘルスケア	11.7%	13.6%
情報技術	12.2%	13.4%
資本財・サービス	11.3%	12.6%
生活必需品	9.8%	8.6%
エネルギー	9.5%	7.3%
素材	5.7%	5.7%
電気通信サービス	3.5%	3.5%
公益事業	3.3%	0.7%
キャッシュ他	—	3.2%
合計	100.0%	100.0%

※構成比は投資対象となる投資信託の時価総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2014.3末現在)

銘柄名	国名	業種	構成比
1 ギリアド・サイエンシズ	アメリカ	ヘルスケア	3.8%
2 ロシュ・ホールディング	スイス	ヘルスケア	2.6%
3 ゴールドマン・サックス・グループ	アメリカ	金融	2.3%
4 グーグル	アメリカ	情報技術	2.2%
5 ノボ ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	2.0%
6 ブリストル・マイヤーズスクイブ	アメリカ	ヘルスケア	2.0%
7 ペルノ・リカール	フランス	生活必需品	1.7%
8 ベリサイン	アメリカ	情報技術	1.6%
9 イートン	アメリカ	資本財・サービス	1.6%
10 ダナハー	アメリカ	資本財・サービス	1.6%

※構成比は投資対象となる投資信託の時価総額に対する割合

・当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品は資産運用の結果が直接、死亡保険金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価格の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の動向等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。またご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動フィナンシャル生命が提供するものであり、開示内容について東京海上日動フィナンシャル生命は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 日本株式型成長株 (2014年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】1999年11月1日  
 【種類】株式型  
 【資産分類】日本株式  
 【運用方針】  
 日本の株式の中で、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。  
 【投資対象となる投資信託】  
 フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	129	1.5%
有価証券等 フィデリティ・日本成長株・ ファンドVA3	8,670	98.5%
その他	-	-
資産合計	8,800	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	8,800	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2011年3月31日	66.93	-
2013年3月31日	79.84	9.93%
4月30日	89.67	12.31%
5月31日	88.78	-0.98%
6月30日	85.57	-3.62%
7月31日	89.53	4.63%
8月31日	86.40	-3.49%
9月30日	96.01	11.11%
10月31日	94.48	-1.58%
11月30日	98.99	4.77%
12月31日	101.45	2.49%
2014年1月31日	96.94	-4.44%
2月28日	95.84	-1.14%
3月31日	93.50	-2.44%
3か月変化率		-7.84%
6か月変化率		-2.61%
1年変化率		17.11%
3年変化率		39.69%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信  
 【運用対象】日本株式  
 【ベンチマーク】TOPIX (配当金込)  
 【投資の基本姿勢】

- ①個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。
  - 一般的に成長企業は、市場における高い競争力がありますので、市場占有率や価格競争力等において優位な状態にあります。
  - 高い競争力を戦略的に活用し、経営効率を高め、株主利益の拡

大に努めている企業に注目します。

- 成長性については、利益または収益で計られる場合が多く、キャッシュフローが潤沢であることも注目点としてあげられます。
- ②個別企業分析にあたっては、フィデリティ・グループの日本および世界主要金融拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、ポートフォリオ・マネジャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。
- ③ポートフォリオ構築にあたっては、分散投資を基本としリスク分散を図ります。

### 運用状況

#### ■市場別構成比 (2014.3末現在)

市場	構成比
東証1部	96.8%
東証2部	0.1%
ジャスダック	0.4%
その他市場	0.4%
現金・その他*	2.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合  
 \*「フィデリティ・円キャッシュ・ファンド」(1.5%)を含みます。

#### ■上位5業種構成比 (2014.3末現在)

業種	構成比
1 電気機器	18.8%
2 輸送用機器	11.4%
3 機械	8.9%
4 銀行業	7.0%
5 情報・通信業	6.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2014.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 日立製作所	電気機器	3.4%
2 本田技研工業	輸送用機器	3.1%
3 トヨタ自動車	輸送用機器	2.9%
4 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.9%
5 三菱電機	電気機器	2.7%
6 オリックス	その他金融業	2.6%
7 日本電産	電気機器	2.6%
8 ミスミグループ本社	卸売業	2.6%
9 マキタ	機械	2.4%
10 シマノ	輸送用機器	2.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 215)

### 【運用会社による投資信託へのコメント】(2014.3末現在)

3月の東京株式市場は、海外の政治・経済情勢に揺れ動く場面もありましたが、月間では概ね横ばいとなりました。ロシアがウクライナに対する軍事介入の姿勢を打ち出したことから、世界的に地政学リスクへの懸念が高まり、日本株も当月は弱含んで始まりまし。速やかな武力行使には至らないとの見方から間もなく株価は戻したものの、上値の重たい動きとなりました。市場の出来高も細る中、悪化傾向を示す中国のマクロ景気指標が相次いで発表されると、月中旬に日本株は年初来安値近くまでの急落を余儀なくされました。その後も、ロシアによるクリミア編入と欧米諸国による制裁措置の発動、イエレン米連邦準備制度理事会(FRB)議長による早期利上げ示唆などの悪材料が続きましたが、下値では割安なバリュエーションが支えとなりました。下旬になり、米国景気の先行きに対する警戒感が薄れると、日本株もやや値を戻して月末を迎えました。  
 月間の騰落率は、TOPIX(配当金込)が+0.20%、日経平均株価は▲0.09%でした。

・当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価格の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合がありますからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動フィナンシャル生命が提供するものであり、開示内容について東京海上日動フィナンシャル生命は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 日本株式型小型株 (2014年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2000年12月18日  
 【種類】株式型  
 【資産分類】日本株式  
 【運用方針】  
 日本の小型株式を中心に、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。  
 【投資対象となる投資信託】  
 フィデリティ・日本小型株・ファンドVA3

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	52	1.9%
有価証券等		
フィデリティ・日本小型株・ ファンドVA3	2,774	98.1%
その他	—	—
資産合計	2,827	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	2,827	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2011年3月31日	82.05	—
2013年3月31日	103.40	13.82%
4月30日	115.54	11.75%
5月31日	115.11	-0.37%
6月30日	110.95	-3.62%
7月31日	117.45	5.86%
8月31日	111.83	-4.79%
9月30日	122.52	9.56%
10月31日	119.67	-2.33%
11月30日	122.06	2.00%
12月31日	125.28	2.64%
2014年1月31日	126.55	1.02%
2月28日	123.75	-2.22%
3月31日	121.66	-1.69%
3か月変化率		-2.89%
6か月変化率		-0.70%
1年変化率		17.66%
3年変化率		48.27%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### フィデリティ・日本小型株・ファンドVA3の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信  
 【運用対象】日本株式  
 【ベンチマーク】ラッセル野村・ミッドスマールキャップ・インデックス(配当金込)  
 【投資の基本姿勢】  
 ①個別企業分析により、比較的規模の小さい高成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行ないます。  
 ●小型成長企業は、革新的なビジネス展開や効率的な収益構造等により独自の「競争力」を有しています。

- 成長性については、利益または収益で計られる場合が多く、キャッシュフローが潤沢であることも注目点としてあげられます。
- ②個別企業分析にあたっては、フィデリティ・グループの日本および世界主要金融拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行ないます。
- ③ポートフォリオ構築にあたっては、分散投資を基本としリスク分散を図ります。

### 運用状況

#### ■市場別構成比 (2014.3末現在)

市場	構成比
東証1部	85.0%
東証2部	1.5%
ジャスダック	6.8%
その他市場	4.9%
現金・その他*	1.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合  
 \*「フィデリティ・円キャッシュ・ファンド」(1.5%)を含みます。

#### ■上位5業種構成比 (2014.3末現在)

業種	構成比
1 サービス業	18.9%
2 電気機器	15.3%
3 化学	6.6%
4 情報・通信業	6.4%
5 小売業	5.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2014.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 サニックス	サービス業	4.2%
2 エムスリー	サービス業	3.4%
3 東洋	サービス業	2.4%
4 日本農業	化学	2.3%
5 光通信	情報・通信業	2.1%
6 セリア	小売業	2.1%
7 富士急行	陸運業	2.1%
8 LIXILグループ	金属製品	2.1%
9 スタンレー電気	電気機器	2.0%
10 ラウンドワン	サービス業	2.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 94)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】(2014.3末現在)

3月の東京株式市場は、海外の政治・経済情勢に揺れ動く場面もありましたが、月間では概ね横ばいとなりました。ロシアがウクライナに対する軍事介入の姿勢を打ち出したことから、世界的に地政学リスクへの懸念が高まり、日本株も当月は弱含んで始まりまし。速やかな武力行使には至らないとの見方から間もなく株価は戻したものの、上値の重たい動きとなりました。市場の出来高も細る中、悪化傾向を示す中国のマクロ景気指標が相次いで発表されると、月中旬に日本株は年初来安値近くまでの急落を余儀なくされました。その後も、ロシアによるクリミア編入と欧米諸国による制裁措置の発動、イエレン米連邦準備制度理事会(FRB)議長による早利上げ示唆などの悪材料が続きましたが、下値では割安なバリュエーションが支えとなりました。下旬になり、米国景気の先行きに対する警戒感が薄れると、日本株もやや値を戻して月末を迎えました。  
 月間の騰落率は、TOPIX(配当金込)が+0.20%、日経平均株価は▲0.09%でした。Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックス(配当金込)は+0.28%と大型株並みでしたが、JASDAQ INDEXが▲3.09%となるなど、新興株は大型株をアンダーパフォームしました。

・当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品は資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価格の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動フィナンシャル生命が提供するものであり、開示内容について東京海上日動フィナンシャル生命は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 日本株式型 (2014年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】1996年11月1日  
 【種類】株式型  
 【資産分類】日本株式  
 【運用方針】  
 日経225インデックスに連動する運用成果を目指した、わかりやすい投資を基本とするパッシブ運用を行います。  
 【投資対象となる投資信託】  
 株式インデックス225

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	53	1.0%
有価証券等		
株式インデックス225	5,528	99.0%
その他	—	—
資産合計	5,582	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	5,582	100.0%

### ■ ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2011年 3月31日	52.57	—
2013年 3月31日	68.08	10.14%
4月30日	76.46	12.31%
5月31日	74.83	-2.13%
6月30日	72.84	-2.66%
7月31日	76.32	4.79%
8月31日	74.07	-2.95%
9月30日	81.48	10.00%
10月31日	80.07	-1.74%
11月30日	86.73	8.32%
12月31日	89.20	2.84%
2014年 1月31日	82.78	-7.19%
2月28日	82.33	-0.54%
3月31日	81.62	-0.87%
3か月変化率		-8.49%
6か月変化率		0.17%
1年変化率		19.89%
3年変化率		55.27%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### 株式インデックス225の基本情報

【運用会社】野村アセットマネジメント  
 【運用対象】国内上場株式  
 【ベンチマーク】日経平均株価（日経225\*）\*：©日本経済新聞社

### 運用状況

#### ■ 資産・市場別構成比 (2014.3末現在)

資産・市場	構成比
東証1部	96.6%
東証2部	—
ジャスダック	—
その他の市場	—
株式先物	3.3%
その他の資産	3.4%
合計(※)	—

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示していません。  
 ※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

#### ■ 業種別内訳 (2014.3末現在)

業種	構成比
電気機器	16.6%
小売業	12.0%
情報・通信業	11.8%
輸送用機器	7.1%
化学	6.8%
その他の業種	42.3%
その他の資産	3.4%
合計	100.0%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

#### ■ 組入上位10銘柄 (2014.3末現在)

銘柄	業種	市場	構成比
1 ファーストリテイリング	小売業	東証1部	9.6%
2 ソフトバンク	情報・通信業	東証1部	6.0%
3 ファナック	電気機器	東証1部	4.7%
4 KDDI	情報・通信業	東証1部	3.1%
5 京セラ	電気機器	東証1部	2.4%
6 本田技研工業	輸送用機器	東証1部	1.9%
7 東京エレクトロン	電気機器	東証1部	1.6%
8 アステラス製薬	医薬品	東証1部	1.6%
9 セコム	サービス業	東証1部	1.5%
10 信越化学工業	化学	東証1部	1.5%
合計			33.7%

※業種は東証33業種分類による。  
 ※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

(銘柄数 224)

・当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価格の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合がありますからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動フィナンシャル生命が提供するものであり、開示内容について東京海上日動フィナンシャル生命は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 欧州株式型 (2014年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】 2000年12月18日  
 【種類】 株式型  
 【資産分類】 外国株式  
 【運用方針】  
 欧州株式を中心に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。  
 原則として為替ヘッジを行いません。  
 【投資対象となる投資信託】  
 Old Mutual European Equity Fund

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	58	2.3%
有価証券等		
Old Mutual European Equity Fund	2,444	97.7%
その他	—	—
資産合計	2,503	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	2,503	100.0%

### ■ ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2011年 3月31日	87.01	—
2013年 3月31日	101.76	3.32%
4月30日	106.79	4.94%
5月31日	114.93	7.62%
6月30日	105.60	-8.12%
7月31日	112.74	6.77%
8月31日	112.33	-0.36%
9月30日	118.04	5.08%
10月31日	126.02	6.76%
11月30日	132.50	5.15%
12月31日	137.79	3.99%
2014年 1月31日	132.39	-3.91%
2月28日	137.21	3.64%
3月31日	138.24	0.75%
3か月変化率		0.33%
6か月変化率		17.11%
1年変化率		35.85%
3年変化率		58.88%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### Old Mutual European Equity Fund の基本情報

【投資顧問会社】 Old Mutual Global Investors (UK)  
 【運用対象】 欧州株式  
 【ベンチマーク】 MSCIヨーロッパ (配当金込)

### 運用状況

#### ■ 国別内訳 (2014.3末現在)

国名	ポートフォリオ構成比
イギリス	24.55%
ドイツ	14.80%
フランス	14.38%
スイス	13.61%
スペイン	7.05%
オランダ	5.65%
イタリア	5.21%
デンマーク	3.56%
ノルウェー	3.47%
その他	7.71%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

#### ■ 上位業種構成比 (2014.3末現在)

業種	構成比
金融	26.40%
一般消費財・サービス	19.15%
ヘルスケア	17.46%
資本財・サービス	8.64%
エネルギー	7.92%
素材	5.94%
生活必需品	5.15%
電気通信サービス	4.64%
情報技術	4.17%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

#### ■ 組入上位10銘柄 (2014.3末現在)

銘柄名	構成比
1 ROCHE HLDGS AG GENUSSSCHEINE NP	3.84%
2 BAYER AG NPV (REGD)	3.71%
3 NOVARTIS AG CHF0.50 (REGD)	3.50%
4 GLAXOSMITHKLINE PLC	3.31%
5 TOTAL EUR2.5	3.24%
6 NEXT GROUP ORD GBP5.00 (TO BECO)	2.94%
7 DELTA LLOYD NV	2.92%
8 NOKIA OYJ EUR0.06	2.91%
9 ING GROEP NV	2.73%
10 AXA	2.39%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

・当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価格の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があります。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動フィナンシャル生命が提供するものであり、開示内容について東京海上日動フィナンシャル生命は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 米国株式型 (2014年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】 2000年12月18日

【種類】 株式型

【資産分類】 外国株式

【運用方針】

米国の成長株を中心に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。原則として為替ヘッジを行いません。

【投資対象となる投資信託】

Old Mutual North American Equity Fund

### ■ ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2011年 3月31日	63.49	—
2013年 3月31日	77.00	5.05%
4月30日	80.38	4.40%
5月31日	87.13	8.39%
6月30日	82.23	-5.62%
7月31日	85.42	3.88%
8月31日	84.43	-1.16%
9月30日	87.54	3.69%
10月31日	91.90	4.98%
11月30日	96.99	5.53%
12月31日	100.70	3.83%
2014年 1月31日	95.16	-5.50%
2月28日	98.65	3.67%
3月31日	99.60	0.96%
3か月変化率		-1.09%
6か月変化率		13.77%
1年変化率		29.36%
3年変化率		56.87%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■ 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	61	2.4%
有価証券等		
Old Mutual North American Equity Fund	2,526	97.6%
その他	—	—
資産合計	2,587	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	2,587	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### Old Mutual North American Equity Fund の基本情報

【投資顧問会社】 Old Mutual Global Investors (UK)

【運用対象】 米国株式

【ベンチマーク】 MSCI North America

### 運用状況

#### ■ 上位業種構成比 (2014.3末現在)

業種	構成比
一般消費財・サービス	16.10%
ヘルスケア	14.90%
金融	14.15%
情報技術	13.28%
資本財・サービス	13.13%
公益事業	8.09%
生活必需品	6.62%
エネルギー	5.17%
電気通信サービス	5.07%
素材	3.59%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

#### ■ 組入上位10銘柄 (2014.3末現在)

銘柄名	構成比	銘柄名	構成比
1 VERIZON COMMUNICATIONS INC	2.04%	6 MASTERCARD INC-CLASS A	1.35%
2 AT&T INC	1.93%	7 MEDTRONIC INC	1.33%
3 HOME DEPOT INC COM USD0.05	1.58%	8 CELGENE CORP COM USD0.01	1.28%
4 APPLE INC	1.53%	9 GENERAL MOTORS ORD	1.24%
5 GILEAD SCIENCES COM USD0.001	1.51%	10 EXXON MOBIL CORP	1.24%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

・当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価格の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動フィナンシャル生命が提供するものであり、開示内容について東京海上日動フィナンシャル生命は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# グローバル・バランス型 (2014年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】1998年12月1日  
 【種類】総合型  
 【資産分類】バランス  
 【運用方針】  
 日本を含む世界の株式、債券、円短期金融商品を主要投資対象とし、独自の計量モデルによるアクティブ運用を行い、長期的に安定した運用成果を目指します。原則として、為替ヘッジを行います。  
 【投資対象となる投資信託】  
 ダ・ヴィンチVA

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2011年 3月31日	100.52	-
2013年 3月31日	111.19	2.09%
4月30日	113.16	1.77%
5月31日	112.56	-0.53%
6月30日	109.19	-2.99%
7月31日	111.26	1.89%
8月31日	110.20	-0.95%
9月30日	111.99	1.62%
10月31日	113.77	1.59%
11月30日	114.53	0.67%
12月31日	114.33	-0.18%
2014年 1月31日	112.20	-1.86%
2月28日	113.82	1.44%
3月31日	113.32	-0.44%
3か月変化率		-0.89%
6か月変化率		1.19%
1年変化率		1.92%
3年変化率		12.73%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳 (単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	38	2.0%
有価証券等		
ダ・ヴィンチVA	1,894	98.0%
その他	-	-
資産合計	1,932	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	1,932	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### ダ・ヴィンチVAの基本情報

【運用会社】ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント  
 【運用対象】日本を含む世界各国の株式・債券および円短期金融商品を主要投資対象とします。(株式先物・債券先物取引等を含みます。)  
 【ベンチマーク】MSCIワールド・インデックス40%+JPモルガン・ガバメントボンド・インデックス(グローバル)40%(ともに100%為替円ヘッジ、円ベース)+1カ月円LIBOR20%

### 【投資の基本姿勢】

- ①日本を含む先進国を中心とした世界の株式市場、債券市場と円短期金融商品に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。
- ②為替は100%円ヘッジを基本としています。
- ③資産配分比率、株式・債券・通貨の国別配分比率の変更を行い、収益の向上を目指します。
- ④コンピュータ・モデルを用いた計量運用を行います。  
 ※市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

### 運用状況

#### ■資産構成 (2014.3末現在)

	構成比
世界株式	47.8%
世界債券	36.6%
円短期金融商品	15.6%
合計	100.0%

### 【運用会社による投資信託へのコメント】(2014.3末現在)

#### <資産クラス間配分>

資産クラス間配分では、世界株式はバリューとモメンタムの観点で評価が高いことから、円短期金融商品に対して強気の見通しとしている。世界債券は円短期金融商品に対して中立の見通しとしている。また、大型株/小型株ならびに一般優良株/テクノロジー株の配分に関しても、ほぼ中立の見通しとしている。

#### <株式国別配分>

株式国別配分においては、日本や香港に対して強気の見通しとする一方で、アメリカやスウェーデンに対して弱気の見通しとしている。日本に対しては、バリュー、モメンタム、リスクおよびマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。香港に対しては、バリューとリスクの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、アメリカに対しては、バリューの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。スウェーデンに対しては、モメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

#### <債券国別配分>

債券国別配分においては、イギリスに対して強気の見通しとする一方で、ドイツに対して弱気の見通しとしている。イギリスに対しては、バリューの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、ドイツに対しては、バリューとマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

#### <通貨配分>

通貨配分においては、ニュージーランドやイギリスに対して強気の見通しとする一方で、カナダやアメリカに対して弱気の見通しとしている。ニュージーランドやイギリスに対しては、マクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、カナダに対しては、資金フローの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。アメリカに対しては、マクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

・当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品は資産運用の結果が直接、死亡保険金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価格の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動フィナンシャル生命が提供するものであり、開示内容について東京海上日動フィナンシャル生命は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界債券型 (2014年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】1998年12月1日  
 【種類】債券型  
 【資産分類】世界債券  
 【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジは行い、為替変動リスクの低減を図ります。

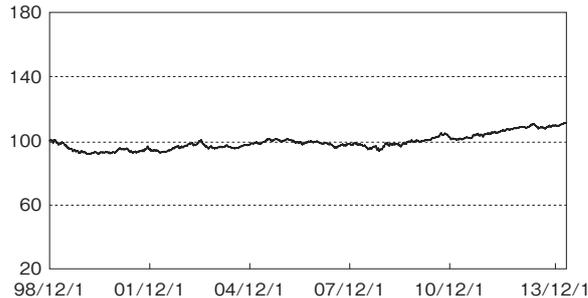
【投資対象となる投資信託】  
 BRワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	73	1.8%
有価証券等		
BRワールド・ボンド・ファンド （為替ヘッジあり）	4,069	98.2%
その他	—	—
資産合計	4,142	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	4,142	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2011年 3月31日	100.89	—
2013年 3月31日	109.12	0.75%
4月30日	110.21	0.99%
5月31日	108.97	-1.12%
6月30日	107.66	-1.21%
7月31日	108.16	0.47%
8月31日	107.90	-0.24%
9月30日	108.53	0.59%
10月31日	109.49	0.88%
11月30日	109.57	0.07%
12月31日	109.03	-0.49%
2014年 1月31日	110.07	0.95%
2月28日	110.72	0.59%
3月31日	111.10	0.34%
3か月変化率		1.90%
6か月変化率		2.36%
1年変化率		1.81%
3年変化率		10.11%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### BRワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン  
 【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債  
 【ベンチマーク】シティ世界国債インデックス（円ヘッジ 円ベース）  
 【投資の基本姿勢】  
 ①金利・為替についての相場観に過度に依存しない投資機会、計算可能な相対価値（「レラティブ・バリュア」）に基づく投資機会を

見し、多種多様な投資機会を積み重ねていくことにより、安定した超過収益をあげることが可能であると考え、信託財産の成長を図ることを目標として積極的な運用を行います。

②外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

### 運用状況

#### ■通貨別構成比率 (2014.3末現在)

	ベンチマーク ウェイト	ポートフォリオ 債券ウェイト	ポートフォリオ 通貨ウェイト
米国・ドル	28.4%	29.3%	0.2%
カナダ・ドル	1.7%	1.4%	0.1%
メキシコ・ペソ	0.8%	1.5%	0.1%
ケイマン諸島・ドル	—	—	—
南アフリカ・ランド	0.4%	0.4%	0.1%
日本・円	25.5%	24.9%	98.9%
オーストラリア・ドル	1.3%	0.8%	0.1%
シンガポール・ドル	0.3%	—	0.0%
マレーシア・リンギット	0.4%	—	—
ユーロ	33.4%	25.3%	0.3%
英国・ポンド	5.8%	4.8%	0.2%
デンマーク・クローネ	0.6%	0.5%	0.1%
スウェーデン・クローナ	0.4%	1.3%	0.0%
スイス・フラン	0.3%	—	—

	ベンチマーク ウェイト	ポートフォリオ 債券ウェイト	ポートフォリオ 通貨ウェイト
ポーランド・ズロチ	0.6%	—	0.0%
ノルウェー・クローネ	0.3%	0.8%	0.0%
国際機関	—	0.6%	—
キャッシュ等	—	8.3%	—
合計	100.0%	100.0%	100.0%

※ベンチマークのユーロ部分は、ユーロ加盟国のウェイトの合計です。  
 ※ベンチマークはシティ世界国債インデックス2014年4月の構成比率  
 ※為替ヘッジが基本なので、為替は「日本・円」100%がベンチマークとなり  
 ※為替のポートフォリオの「日本・円」は、キャッシュ等を含みます。  
 ※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2014.3末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 日本国債	1.000	2021/9/20	9.0%
2 日本国債	1.100	2020/6/20	5.0%
3 日本国債	1.800	2031/9/20	4.2%
4 日本国債	2.100	2027/12/20	3.3%
5 フランス国債	1.750	2023/5/25	2.3%
6 日本国債	0.100	2015/3/15	2.2%
7 ドイツ国債	—	2015/6/12	2.1%
8 スペイン国債	3.800	2024/4/30	1.9%
9 日本国債	1.400	2020/3/20	1.7%
10 スペイン国債	4.400	2023/10/31	1.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合  
 (銘柄数 142)

修正デュレーション=平均6.34年(ベンチマーク=同6.70年)

・当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品は資産運用の結果が直接、死亡保険金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価格の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動フィナンシャル生命が提供するものであり、開示内容について東京海上日動フィナンシャル生命は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 米国債券型 (2014年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】 2003年8月4日

【種類】 債券型

【資産分類】 外国債券

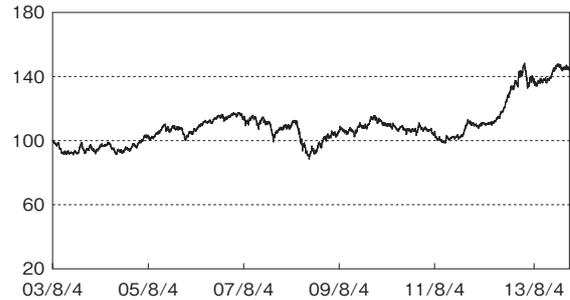
【運用方針】

米国の公社債、モーゲージ証券、資産担保証券等に分散投資を行い、元本の安全性に配慮しながら、慎重な資産運用の下に、トータル・リターンの拡大を目指します。原則として為替ヘッジを行いません。

【投資対象となる投資信託】

Old Mutual Total Return USD Bond Fund

### ■ ユニットプライスの推移



### ■ 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	69	3.8%
有価証券等		
Old Mutual Total Return USD Bond Fund	1,738	96.2%
その他	—	—
資産合計	1,807	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	1,807	100.0%

	ユニットプライス	前月比
2011年 3月31日	107.78	—
2013年 3月31日	135.07	2.06%
4月30日	141.37	4.66%
5月31日	143.46	1.47%
6月30日	135.76	-5.36%
7月31日	136.41	0.48%
8月31日	135.51	-0.66%
9月30日	136.81	0.96%
10月31日	139.43	1.91%
11月30日	144.88	3.91%
12月31日	147.54	1.84%
2014年 1月31日	145.53	-1.36%
2月28日	145.27	-0.18%
3月31日	145.77	0.34%
3か月変化率		-1.20%
6か月変化率		6.55%
1年変化率		7.92%
3年変化率		35.24%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### Old Mutual Total Return USD Bond Fund の基本情報

【投資顧問会社】 Pacific Investment Management Company (PIMCO)

【運用対象】 米国国債、社債、モーゲージ証券、アセット・バック証券、その他確定利付証券

【ベンチマーク】 Barclays Capital US Aggregate

### 運用状況

#### ■ 国別内訳 (2014.3末現在)

国名	構成比
アメリカ	102.63%
イギリス	6.11%
スペイン	5.62%
イタリア	1.93%
フランス	1.23%
インド	1.02%
オランダ	0.63%
カナダ	0.43%
アラブ首長国連邦	0.32%
その他	-19.92%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

#### ■ 格付別構成比 (2014.3末現在)

格付	構成比
AAA	53.23%
AA	38.67%
A	7.19%
BBB	12.41%
BB	2.84%
B	1.29%
CCC	1.34%
CC or lower	0.07%
その他	-17.72%

#### ■ 組入上位10銘柄 (2014.3末現在)

銘柄名	構成比
1 FNCL 4.5 04/06	8.53%
2 USA TREASURY NTS 0.75% NTS 31/	5.45%
3 USA TREASURY NTS 0% NTS 15/01/	3.99%
4 US TREASURY N/B 0.625% 13-15/D	3.54%
5 US TREASURY N/B 1.75% 11-31/A	2.59%
6 FED NATL MORT ASSC 5% MBPT 15/	2.56%
7 FED NATL MORT ASSC 3.5% MTG BD	2.31%
8 USA TREASURY BDS 2.375% DEB TI	2.29%
9 FED HOME LOAN MTG 0.75% BDS 12	2.19%
10 BONOS Y OBLIG DEL EST 3.75% 12	2.14%

※構成比は投資対象となる投資信託の純資産総額に対する割合

・当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価格の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動フィナンシャル生命が提供するものであり、開示内容について東京海上日動フィナンシャル生命は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

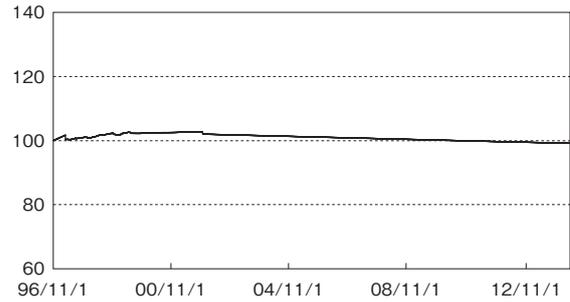
【特別勘定の設定日】1996年11月1日  
 【種類】金融市場型  
 【資産分類】短期金融商品  
 【運用方針】  
 円建ての預貯金、短期金融商品を中心に投資を行います。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。  
 【投資対象】  
 短期金融商品

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	990	100.0%
有価証券等	—	—
その他	—	—
資産合計	990	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	990	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2011年3月31日	99.83	—
2013年3月31日	99.37	-0.02%
4月30日	99.35	-0.02%
5月31日	99.33	-0.02%
6月30日	99.31	-0.02%
7月31日	99.29	-0.02%
8月31日	99.27	-0.02%
9月30日	99.26	-0.02%
10月31日	99.24	-0.02%
11月30日	99.22	-0.02%
12月31日	99.20	-0.02%
2014年1月31日	99.18	-0.02%
2月28日	99.16	-0.02%
3月31日	99.14	-0.02%
3か月変化率		-0.06%
6か月変化率		-0.11%
1年変化率		-0.23%
3年変化率		-0.69%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### 短期金融商品ファンドの基本情報

【運用会社】特に定めません。  
 【運用対象】短期金融商品  
 【ベンチマーク】特に定めません。

・当資料は、Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、満期保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価格の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、貸付利息等を控除する場合がありますからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動フィナンシャル生命が提供するものであり、開示内容について東京海上日動フィナンシャル生命は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 投資リスクについて

この商品は、将来受け取る死亡保険金額、満期保険金額、解約払戻金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価額変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、満期保険金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

## ご負担いただく費用について

項目	費用
保険関係費用	保険契約の締結・維持に必要な費用、死亡・高度障害保険金を支払うための危険保険料、基本保険金額を最低保証するための費用 ※契約年齢等により契約ごとに異なるため、費用の合計額や上限額を表示することができません。
資産運用関係費用	各特別勘定により異なります。 投資信託の純資産総額に対して上限年率1.5%程度
特別勘定運営費用	特別勘定の純資産総額に対して年率0.2%

■契約日から10年以内、かつ保険料払込期間中に解約・減額された場合、解約日の積立金額から経過年数に応じた所定の金額(解約控除)を控除した金額が解約払戻金額となります。

※上記期間経過後は、積立金額と解約払戻金額は同額となります。

※保険料払込方法が一時払の場合は、解約控除は発生しません。

## ご注意ください事項

- 「Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))」は東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額保険)です。
- 「Newアセットチョイス(変額保険(終身型・有期型))」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】	【引受保険会社】 <b>東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社</b> 〒167-0043 東京都杉並区上荻一丁目2番1号 インテグラルタワー TEL 03-6383-6811(大代表) ホームページ <a href="http://www.tmn-financial.co.jp">http://www.tmn-financial.co.jp</a>  ご契約内容・各種手続きに関するお問い合わせは  <b>0120-155-730</b> 受付時間：月～金／9：00～17：00 (祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)
---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------